

波及事故 防止対策 の重要性

区分開閉器編



波及事故とは

お客さま構内で起きた事故が原因で、中部電力パワーグリッドの配電線に接続されている周囲の住宅、ビル、工場、病院、銀行、交通機関、交通信号システムなど、**広範囲に長時間停電を引き起こす事故を言います。**



波及事故が発生すると

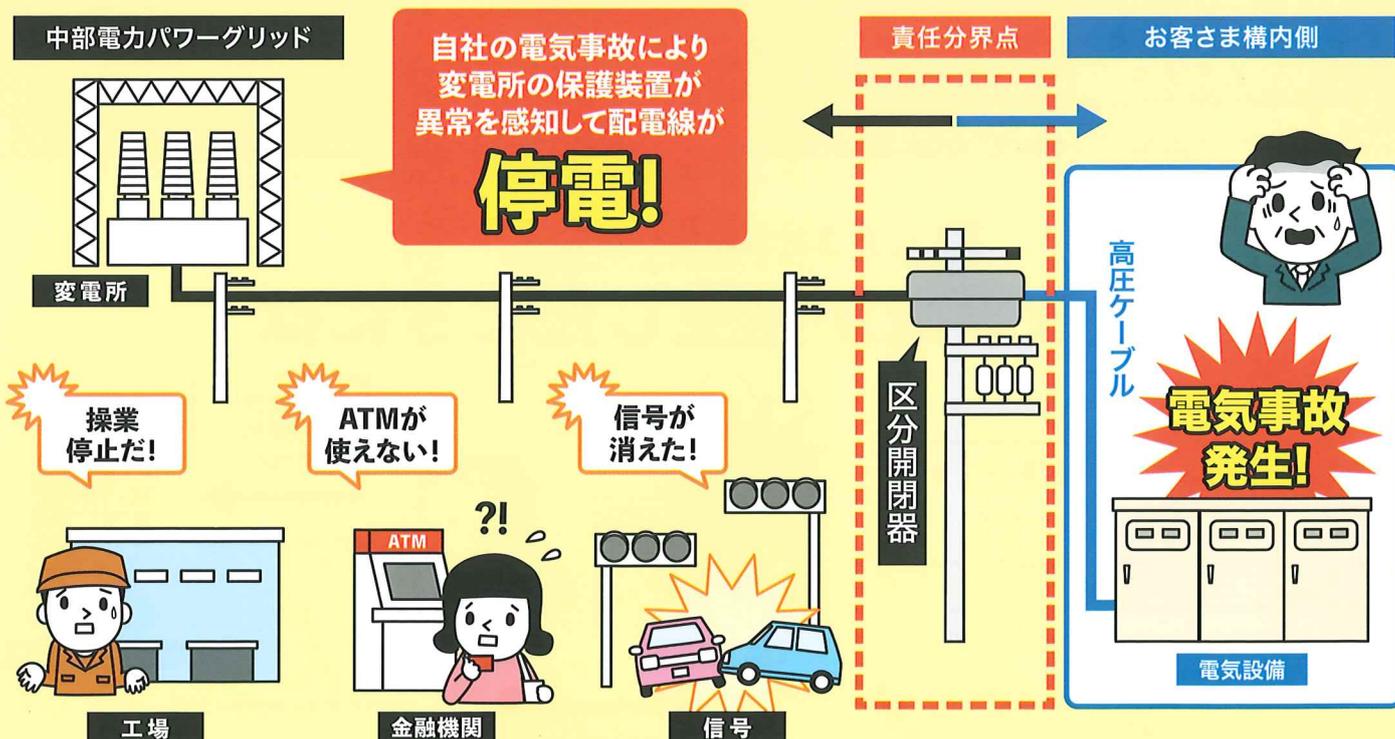
自社の損失だけでなく、他社の営業・操業停止など、社会的に大きな影響を及ぼします。場合によっては、**多大な損害賠償を請求されるケースもあります。**

波及事故の損害額について

1.波及事故発生者の損害額例	2.波及事故被害者の損害額例
<ul style="list-style-type: none"> ① 突然の停電による操業停止等の費用 ② 緊急の仮設工事の費用 ③ 破損した電気工作物の改修費用は状況により100万円～1,000万円以上と様々です。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 突然の停電による操業停止等の費用状況により1,000万円を超える事例もあります。 <p>参考：関東東北産業保安監督部 波及事故防止のお願い ～自家用電気工作物設置者の皆さまへ～</p>

区分開閉器とは

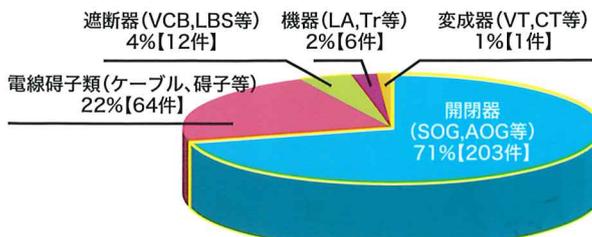
中部電力パワーグリッドとの責任分界点に設置する開閉器のことです。
事故故障を正常に検出せず、開閉器が開放されない場合、波及事故となる恐れがあります。



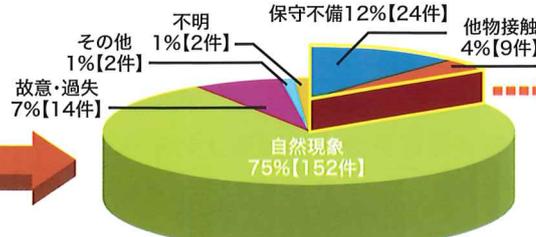
中部地区における波及事故の実態

【2018～2022年度】

波及事故における「事故発生機器別」の割合



波及事故における「開閉器の事故原因別」の割合



「保守不備」「他物接触」は16%を占めており、これらは点検で兆候を把握することにより異常を発見することができます。

「中部近畿産業保安監督部 平成30年度～令和4年度電気事故の概要について」を参照し、自家用電気設備事故防止対策連絡会が集計